

事業系廃棄物減量化計画書

大規模建築物		年度区分	令和5年度実績報告 (2023年4月~2024年3月)					令和6年度					
管理番号	名称		発生量 t/年 (A)	処理区分		再利用率 (B/A)	発生量 t/年 (A)	処理区分		再利用率 (B/A)			
999				〇〇広阪ビル	廃棄 処分量			再利 用 処分量	廃棄 処分量		再利 用 処分量		
所在	〇〇広阪ビル	1	2.0000			100.0%	2.0000			100.0%			
所有者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	代表者名: 代表取締役 〇〇〇〇	2	2.0000			100.0%	2.0000			100.0%			
建築物の規模	地上	3	6.0000				6.0000						
	地下	4	6.0000		6.0000	〇〇商会	100.0%	6.0000		〇〇商会	100.0%		
占有者氏名	〇〇不動産(株)、 〇〇商事(株)	5	2.0000							〇〇商会	0.0%		
		6	3.0000							〇〇商会	0.0%		
職年	所有者等が一括で管理を行っているテナント名を記入	7	4.0000							〇〇商会	0.0%		
		8	5.0000							△△商店	0.0%		
建築物の用途	店舗 6箇所 600㎡	9	10.0000							△△商店	4.0000	△△商店	40.0%
	住居 世帯	10	10.2500	7.7000	〇〇サービス	2.5500	〇〇サービス	24.9%	2.0000		2.0000	〇〇サービス	100.0%
廃棄物管理責任者の氏名	〇〇不動産(株) 管 共有部分: 階段、廊下、機械室、ロビー等	11						100.0%	3.0000	〇〇サービス	100.0%		
		12											入力なし
連絡先	〇〇〇-××××-△△△△	13											入力なし
		14											入力なし
		15											入力なし
		16	0.0000										なし
		17	0.0000										なし
		18	0.0000										なし
			27.7000										6%

自社内で処理する場合は自己処理と記入。廃棄物処理業者に委託する場合は、当該廃棄物を持ち込む処理施設の名称を記入

管理番号及び名称は、案内文書をご確認ください。

「処分量」、「再利用率」には数値しか入力できません。重量の単位を必ず「トン」に換算して入力してください。

1~6の紙類について、混合して排出している場合は、品目ごとに案分しそれぞれの排出量を記入
例
新聞とダンボールの混合物を5トン出した場合は、「1 新聞」に「2トン」、「3 ダンボール」に「3トン」と記入

所有者等が一括で管理を行っているテナント名を記入

6. その他の紙: 雑紙(空き箱や封筒など)、紙パック等
7. 生ごみ: 食堂から出る残飯やオフィスから出る茶殻等
11. その他プラスチック: ペットボトル以外のプラスチック製品(クリアファイル、プラスチックバケツ、スポンジ等)

「再利用率」はパーセント表示で小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを記載してください。

・機械で自動集計しますので、セルや行の追加・削除は行わないでください。
・文字や数値は必ずセルに入力してください。
・テキストボックスやコメントで記載があっても集計されません。

廃棄物の種類は、上表の種類番号を記入

今年度廃棄物処理業者調査		前年度実績自己評価	現在の再利用の具体的方法	今後再利用可能な品目及びその方法
廃棄物の種類	収集運搬業者			
1~7	〇〇商会	新聞、段ボールについては、分別と再利用の意識が根付いているため、100%資源化できた。OA用紙とその他の紙については、テナント社員への教育不足により、資源化できる紙もゴミとして処分してしまった。	①各事業所に古紙類の分別回収箱を置き、清掃社員が毎日回収している。②ダンボールについては一箇所に集約し、資源回収業者に週2回の頻度で回収依頼している。	雑紙については、現状ごみとして処分しているため、別途回収箱を設置する方向で各テナントと協議中である。
8, 9	△△商店			
10, 11	□□サービス			